

route コマンドの使用

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[route コマンドの使用](#)

[コマンドのオプション](#)

[例](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Microsoft Windowsの使用方法について説明します route コマンドが表示されない場合もあります。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ICM のトラブルシューティングの方法
- TCP/IP の設定とトラブルシューティングの方法
- Microsoft Windows のトラブルシューティングの方法

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Microsoft Windows NT
- Cisco ICM

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

背景説明

このドキュメントでは、Microsoft Windows ルート コマンドの使用法について説明します。Cisco Intelligent Contact Management (ICM) ソフトウェアのトラブルシューティングを行う際には、この情報を変更できます。

route コマンドの使用

route コマンドを使用して、Cisco ICM が稼働する Microsoft Windows NT サーバでルートの表示、追加、削除ができます。route コマンドでは、次のオプションが使用できます。

```
route [-f] [-p] [command [destination] [mask subnetmask] [gateway] [metric costmetric]]
```

コマンドのオプション

このセクションでは、route コマンドで使用できる各オプションについて説明します。

- -f オプションでは、すべてのゲートウェイ エントリのルーティング テーブルがクリアされます。-f オプションを command オプションの 1 つと組み合わせて使用すると、コマンドを実行する前にテーブルがクリアされます。
- デフォルトでは、システムの再起動時にはルートは維持されません。command オプション add に -p オプションを使用すると、ルートが固定されます。登録されている固定ルートのリストを表示するには、print コマンドに -p オプションを使用します。
- command オプションでは、次の表の 6 つのコマンドのうちの 1 つを指定します。

コマンド	定義
print	ルートの表示
add	ルートの追加
delete	ルートの削除
change	現在のルートを変更します
destination	コマンド送信先コンピュータの指定 このルート エントリに関連付けられるサブ ネット マスクの指定 (デフォルトのサブネ ット マスクは 255.255.255.255)
mask subnetmask	

- destination は、そのルートのネットワークの宛先を指定します。宛先には、IP ネットワーク アドレス、ホスト ルート用の IP アドレス、またはデフォルト ルートが可能です。
- netmask は IP アドレスをサブネットに分け、ネットワークで利用可能なホストを指定するのに使用できる 32 ビットのマスクです。ネットマスクを指定しない場合、デフォルト値である 255.255.255.255 が適用されます。
- gateway オプションは、デフォルト ゲートウェイを指定します。宛先またはゲートウェイに使用されるすべての識別名は、ネットワークおよびコンピュータ名のデータベース ファイルである NETWORKS と HOSTS で検索されます。command オプションが print または delete の場合は、宛先とゲートウェイにワイルドカードを使用できます。または、ゲートウェイを省略できます。
- metric オプションでは、整数コスト メトリック (1 ~ 9999 までの範囲) を割り当て、これを使用して、最も高速で信頼でき、かつ安価なルートを計算できます。

「IF」には、宛先が到達可能なインターフェイスのインターフェイス インデックスを指定します。IF を指定しない場合は、対象ゲートウェイの最適インターフェイスを見つけるように試行されます。

次に route コマンドの例を示します。

```
C:\WINNT\System32\cmd.exe
Microsoft(R) Windows NT(TM)
(C) Copyright 1985-1996 Microsoft Corp.

C:\>route print

Active Routes:

Network Address          Netmask    Gateway Address  Interface    Metric
-----
0.0.0.0                  0.0.0.0     199.98.126.2    199.98.126.16  1
38.288.233.0             255.255.255.0  199.98.126.2    199.98.126.16  1
127.0.0.0                255.0.0.0    127.0.0.1       127.0.0.1      1
199.98.126.0             255.255.255.0  199.98.126.16    199.98.126.16  1
199.98.126.16            255.255.255.255  127.0.0.1       127.0.0.1      1
199.98.126.255          255.255.255.255  199.98.126.16    199.98.126.16  1
224.0.0.0                224.0.0.0    199.98.126.16    199.98.126.16  1
255.255.255.255         255.255.255.255  199.98.126.16    199.98.126.16  1

C:\>
```

routeコマンドの例

例

IP ルーティング テーブルのコンテンツ全体を表示するには、コマンド route print を発行します。

サブネット マスク 255.255.0.0 およびネクストホップ アドレス 10.10.0.1 で宛先 10.19.0.0 への固定ルートを追加するには、コマンド route -p add 10.19.0.0 mask 255.255.0.0 10.10.0.1 を発行します。

「172.」で始まる IP ルーティング テーブルのルートを表示するには、コマンド route print 172.* を発行します。

「172.」で始まるIPルーティングテーブルのすべてのルートを削除するには、route delete 172.*コマンドを発行します。

```
Examples:
> route PRINT
> route ADD 157.0.0.0 MASK 255.0.0.0 157.55.80.1 METRIC 3 IF 2
      destination^      ^mask      ^gateway      metric^
                                Interface^
If IF is not given, it tries to find the best interface for a given
gateway.
> route PRINT
> route PRINT 157*      .... Only prints those matching 157*
> route DELETE 157.0.0.0
> route PRINT
```

その他の例

関連情報

- [シスコテクニカルサポートおよびダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。